

おお大勝利

平成 26 年度山東サッカー部報第 16 号 (8 月 22 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

充実の夏を経て収穫の秋へ

7 月 28 日 (月) に夏期講習が終わり、いよいよ本格的に夏休み入り。

8 月 2 日 (土) '山東サッカーフェスティバルが開催。今年は大学 1 年生の代の参加者がゼロと寂しかったものの、ハマジ、ジュリという大学 2 年生の代 (山東 63 回卒) や、〇ーツキさん、ヤスヒトといった大学 3 年生の代 (山東 62 回卒)、そして社会人の先輩方²を多数お迎えし、にぎやかに行われました。昨年は、サウジアラビア大使館に外交官としてお勤めの先輩 (オカベさん) など、海外からも先輩が参加して下さいましたし、その代はノブさん、アズマさん (いずれも芹川トレーナーと同じ山東 41 回卒) も参加し、一層にぎやかだったのですが、今年は昨年と比べるとやや少なめか (41 回卒からはアズマさんだけ参加)。ただ、プレーは往年の技を感じさせるものがあり、今野や齋藤 GK コーチの 43 回卒も含め、**40 代の OB のプレーは 20 代や 30 代の OB 以上のものがありました** (自賛)。個人的には、桂木さん (弟) に好パスを供給できなかったのが心残り。ピッチにおける一番の盛り上がりは、何といても 2 年生対 3 年生の現役一引退対決。3 年生はこれまでの「世代間闘争」において下の代に勝ったことがないため、勝つとしたら最後のチャンス。クリロンなんかは千歳山まで走り込みをし調整しておりましたが・・・果たして、結果は、引き分け。**3 年生は最後は負けなかった!** ということで勘弁してやりましょう。夕方からは洋風庭園 (中庭) に移動して、佐門のモツ煮をほうばる恒例行事。大人はビール、青少年はジュースの缶を片手にサッカー談議。前号でお伝えしていた通り、昨年はモツ煮が余ったため、今年は現役生に「1、2 年生は最低 5 杯 (がノルマ)」と号令しておきましたが、その効果か、**今年はモツ煮の消費スピードが速い。頼もしい!** 勉強に切り替えた 3 年生の代表や現役を代表して 2 年生の代表が謝辞・これからの意気込みをスピーチし、終了。OB 会の皆様、今年もありがとうございました。

そして、**翌 3 日からは 2 泊 3 日で月山合宿**。東海大山形さんに感化されて月山で合宿を始め早 5 年。それ以前の山東サッカー部は、同様に高地の蔵王で合宿を行うのが恒例となっておりました。前 PTA 会長にしてサッカー部 OB の丹野さん (33 回卒) が現役の頃は学校の合宿所で合宿を行っておりましたが、夏合宿中、熱中症にて丹野さんと同じ年の丸子さんが亡くなるという不幸な出来事が起こり³、その翌年から、奥山 OB 会副会長の肝いりにより、涼しい蔵王での合宿を行ってきました。しかし、5 年前、長年合宿先としてお世話になったとある旅館

1 例年第一土曜日の開催がサッカーフェスティバルの伝統です。

2 特に、ダイシン、ガク、タイチョウの 3 名が参加した大学卒業 2 年目の代 (山東 60 回卒) が、代としては最多。

3 その不幸の後、丸子さんのご遺族から山東サッカー部に部旗とテントが寄贈されました。現在も頻繁に使用しているサッカー部のテントはその時寄贈されたものです。

が電気系統のショートにより火事を出し、旅館業から撤退したのをきっかけに、山東の合宿先も本格的に⁴蔵王から月山弓張平に移動いたしました⁵。そんな月山合宿も早 6 年目。今年、今野は、8 月 4 日が第二子の出産予定日となっていたため、月山に泊らず日帰りで参加。東北大サッカー部一年のゴメ (63 回卒)⁶を車に乗せ、8/4、8/5 と日帰りで参加 (8/3 は不参加)。宿泊・学習指導は志村先生と齋藤 GK コーチにお任せ。ともかく、**シャモジ・カツミの両グラウンドマネージャーの下、下とは比べられないほど涼しい弓張平にて体をいじめ抜きました**。最終日にはもちろん、**恒例の月山登山**も行いましたよ～。112 号線から弓張平の公園を抜け姥沢の駐車場まで、10km にわたる山道を踏破する恒例行事。選手同士の会話にそば耳を立てて聞くに、選手もこの月山の登山をかなり意識していた模様。選手が 21 人所属で家事都合で合宿 1 名不参加、故障で 1 名走らずなので、19 名が登山を試みたことになる (+ゴメ)。60 分を切ったのが、スピードスターの 2 年サッチモのみ。65 分を切ったのが、2 位団長 (1 年)、3 位タイチ (2 年)、4 位ハヤト (1 年)、5 位タロー (2 年)、6 位マツキ (1 年) の 5 人。半数が 65 分を切るくらいじゃないとだめだし、60 分切りが 1 名は寂しいのですが、個々によく頑張ったと思います。

OB 会の皆様から差し入れ頂戴いたしました。ありがとうございました。また、保護者会の皆様からも差し入れと、**10 人の 2 年生保護者の皆様**⁷から現地で激励を頂戴いたしました。ありがとうございました。特に、吉田さんと武田さんからは、行き帰りどちらも荷物運搬のため自家用車を出していただきました。本当にありがとうございました。

一日はさんで **8 月 7 日から 8 月 10 日にかけて行われたのが、これまた恒例の苗場遠征**。これまた東海大山形さんに感化されて行き始め、途中花巻やひたちなかに浮気した時期もありましたが、今年で足かけ 5 回目の苗場⁸。現在選手が 21 名 (マネ含め 23 名) と選手数が少ないため、AB2 チーム参加するためには、選手をアウトソース (外注) する必要がある。当然白羽の矢が立ったのは新潟大学に通う OB。ちょうど協力を呼びかけたところ、**5 人の新潟大に通う OB サカグチ、マンサク、ハムヤス、ナオト、ユータロー (すべて 63 回卒)** がそれに応えてくれ、晴れて 2 チーム参加⁹。当初は、宿泊に伴う経費の関係上、必要な OB の数は 3 人と言っておりましたが、「せっかく申し出てくれた OB を断るのもおかしい、お金は現役生の保護者にお願いするしかない、それにしても 5 人だと人材が余っちゃうな～」などと呑気に考えておりましたが、いざ大会が始まると、**B 戦で OB フル稼働**。そうです、現役生の離脱が多すぎなのです。「足首が痛い」だの、ひどいものになると「指と指の間が痛い」だの、たわけた発言で先輩におんぶにだっこ。マンサクさんやユータローさんのように最終日までプレーする喜びの続いた先輩もおりましたが、サカグチさんなんかは二日目から息切れ気味¹⁰。しかしそこは山東サッカー部で培った精神力の強さを見せ、最終日まで現役生を力強くリードしてくれました。

⁴ 2009 年は蔵王と月山どちらでも合宿を行ったと記憶しています。

⁵ ということは、蔵王での合宿は約 25 年以上は続けてきたこととなります (30 年は行かない)。私も蔵王合宿経験者ですし、前監督にしてカツミ父の渡邊先生 (35 回卒) も経験者となります。

⁶ 一浪して体がなまっているので、フィジカル合宿の月山に参加して体にキレを戻したいと申し出て、意識の高さを見せました。

⁷ 2 年生はマネージャー含め 9 人ですので、すごい参加率でした。1 年生の保護者の皆様は、来年のプレッシャーとならないようにお願いします。例年、2、3 人の代表の方がいらっしやるだけですので。今年の 2 年生は、人数が少ないだけに、「全員でやりましょう」という一致団結した雰囲気御有りなんでしょう。

⁸ 2008 年、2010 年～2014 年の計 5 回。

⁹ 5 人のうち前の二人が全日程参加。後の三人が二日目から参加。

¹⁰ サカグチさんは元々 GK でしたが、今回は常に FP で出場してくれました。

ともかく、B チームはその得点のほとんどが OB、ゲームメイクも OB という、現役にとっては残念な内容となりました。そうした中でも、現役のユータロー（1 年）が複数得点を決め、気を吐きました。あっ、これは報告しなければならない。サカグチさんは本来 GK ですが、現役時代、練習試合等では FP で何度か出場しました。しかし、その山東での現役生活を通じて無得点であり、この苗場で何とか得点し積年の宿願を果たしたいという野心をもっていたそうです。が、苗場でもなかなか得点できず。**B の試合は、だんだんと「みんなでサカグチさんに得点させよう」という雰囲気になってくる。**結局最終日にやっと得点し、猛烈に悪天候時の勝ちゲームの単なる 1 点ながら、やたら盛り上がる山東ベンチ。**サカグチさん、良かったね！！**A はムンタリが家庭の事情により苗場を欠場したので、ムンタリに頼らない攻撃の形を作る絶好の機会となりましたが、上述のように欠場者が多く、やりくりだけで精一杯。雨でピッチコンディションが悪い日々が続いたのですが、そうした中、蹴れない、ボールを確保できない技術の低さと、声が足りない覇気のなさを露呈し続けました。ただ、三日目たまたま同じリーグとなった鶴岡南との試合は、技術の低さを忘れさせる熱い試合となりました。前半は 0 対 3 で一方的にやられ、鶴南との個の技術・戦術眼の違いをまざまざと見せつけられました。後半は 2 点返し結局 2 対 3 で山東の敗北。**わざわざ苗場まで来て行った試合の中で最も力のこもった試合が同県対決、とは何とも悲しいですが、負けたくないという意地が感じられた試合でした。**FW で出場した副キャプテンのタツルが後半 20 分くらいから「時間ないんだぞ、早くしろ」と声を掛け、味方を鼓舞し続けたのがとても印象的でした（試合は 35 分ハーフ）。

結局、AB ともさしたる戦績は上げられませんでした。試合日程にかかわらず、毎日 6 時朝食、7 時移動（もちろん走り）で練習を開始し、試合が終わってからもトレーニングを続け、**一番早く来て一番遅くに帰る日々を実践。**サッカー漬けの日々を送ってきました。

トリノ五輪のスキー競技で入賞したとある男子選手¹¹の実家だったペンションハイジさんには本当に温かなおもてなしを受けました。ありがとうございます。来年もぜひぜひ宜しくお願いします¹²。OB の 5 名には本当に大車輪の働きをしてもらいました。ありがとうございます！来年もよろしく！！

さて、山東現役諸君、この夏の経験を今後活かしましょう。OB の皆様、保護者の皆様、すぐ公式戦がやってまいります。応援よろしくお祈りします。

8 月 23 日（土）Y2B 第 10 節 酒田南戦 12:00～ @鶴岡南 G

♪連絡♪

8 月 6 日顧問今野に第二子（次男）が誕生しました。名前は善寛（ヨシヒロ）。私の祖父・父・長兄から勝手に「善」をもらい受け、次兄から「寛」をもらい受けただけの、シンプルすぎる命名となりました。誕生のかなり前から決めていたので、実は部報前号でも、とあるところでさりげなくヨシヒロという名前を使っていたのですよ。それにしても、月山合宿と苗場遠征の間の 1 日しかない OFF の日に生まれてくるとは、本当に親孝行な子だと思いませんか～（8 月 5 日月山合宿から帰宅⇒みんなで花笠を観に行く⇒歩いたので産気づく⇒夜病院へ行く⇒8 月 6 日午前 1 時ほどに産まれるという流れ、花笠出産とでも言いましょうか）。

¹¹ その選手の奥様は、旦那さんより長く競技生活を続け、メダルまであと一步のところまで行った超人気モーグル選手です。

¹² マネージャーからの支持が絶大でした。